| 区分 | 臨床・専門分野 | 授業科目名 | 血液検査学実習 | 単位数 | 2 |
|---|---|---|---|---|---|
| 対象学年 | 2年生 | 開講時期 | (前期)・後期・通年 | 講義形態 | 講義・(実習) |
| 担当教員名 | 今村　文章 | 実務経験 | (有)・無 | 実務経験内容 | 三菱鉱業端島鉱病院検査部に5年、健康保険諫早総合病院に34年(計39年臨床検査技師として勤務)。その間、日臨技血液検査研究班班長などを歴任、平成15年には認定血液検査技師となる。 |

**授業の目的・目標**

血球の分化・生成の復習を取り入れながらCBCなど各種実習により、この分野の化学的或いは生物学的反応を習熟すると共に科学的思考力を身につける。

**成績評価の方法**

出欠状況、授業態度は勿論であるが、質問に対する回答能力も評価したい。最終的には試験での評価とする。

**授業の概要・授業方針**

各項目について、基礎的な用手法による検査で、試薬の特性や原理等を中心に実習する。

**テキスト・参考資料等**

教科書(医歯薬出版社)の血液検査学を中心に、試薬等の添付書などを使用。

| 授業計画 | 講師 |
|---|---|
| 第　1講　血液学の歴史、実習予定項目の確認、レポートの書き方 | 今村　文章 |
| 第　2講　採血と副作用・CBCの試薬準備 | 今村　文章 |
| 第　3講　CBC(RBC・WBC・)測定　採血を含む | 今村　文章 |
| 第　4講　CBC(Ht・Hb)測定 | 今村　文章 |
| 第　5講　CBC(PLT)測定　講義と実習　(直接法・間接法) | 今村　文章 |
| 第　6講　赤血球抵抗試験　講義(含:HAM試験・砂糖水試験)と(G－Sanford法) | 今村　文章 |
| 第　7講　網状赤血球計数　講義と実習　(Burecher法) | 今村　文章 |
| 第　8講　薄層塗抹標本作製と普通染色　講義と実習　(パッペンハイム染色) | 今村　文章 |
| 第　9講　末梢血:正常血液像(RBC・WBC・血小板)　講義と実習(染色標本の観察) | 今村　文章 |
| 第10講　末梢血:異常血液像(RBC・WBC・血小板)　講義と実習(染色標本の観察) | 今村　文章 |
| 第11講　特殊染色　ALP染色(陽性率・陽性指数)　講義と実習(染色標本の観察) | 今村　文章 |
| 第12講　特殊染色　PO・SSB(陽性率・陽性指数)　講義と実習(染色標本の観察) | 今村　文章 |
| 第13講　特殊染色　EST染色(非特異・特異)　講義と実習(染色標本の観察) | 今村　文章 |
| 第14講　特殊染色と急性白血病(FAB分類)　講義と実習(染色標本の観察) | 今村　文章 |
| 第15講　予備 | 今村　文章 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |